

包容力ある社会に



いまなりともみ
今成 知美

NPO法人^{あさくら}（アルコール
薬物問題全国市民協会）代表

たたく。それを見ると、
一般の人は自分や家族に
異変を感じても認めたく
ない、相談しづらい、と
なる。その結果、社会が
ら孤立して問題がどんど
ん大きくなってしまふ。
国内の依存症者109
万人に対し、治療してい
る人は4万〜5万人に過
している。

の中で、リ
カバリーパ
レード（回復
の祭典）は依
存症者が自ら
の責任で回復の姿を社会
に示す活動であり、とて
も素晴らしい。

虐待、背景に業務過多

NCCU 介護職員アンケート

UAゼンセン日本介
護クラフトユニオン
（NCCU）が介護職
員などを対象に高齢者
虐待防止アンケートを
行ったところ、虐待の
原因は「業務負担が多
い」「仕事上のストレ
ス」「人材不足」が上
位に挙げられた。虐待
の背景に職員の業務過
多があることがうかが
える結果となった。
アンケートは6〜7
月にNCCUのホーム
ページで行われ、34
8人が回答。4日に結
果が公表された。
高齢者虐待の研修に
ついて「不十分」「ど
ちらかといえば不十分
」が半数近くを占め、「会
社や法人に虐待防止マ
ニュアルがあるか分か
らない」が22%、「虐待
の通報先を知らない」
が19%あった。
自由記述では「虐待
の一番の原因は過密勞
働にある」「事業所の
都合が優先され全体的
に倫理観が軽視されて
いる」などの意見が寄
せられた。NCCUは
「職員は虐待を自分の
隣り合わせの問題と考
えている。問題意識は
高い」としている。

「会社が明言して」

人事担当者ら150人参加

介護離職防止

介護離職防止対策シ
ンポジウムが2日に都
内で開かれ、企業の人
事担当者ら約150人
が参加した。主催の一
般社団法人介護離職防
止対策促進機構の和氣
美枝・代表理事は、会
社からの不当な扱いを
恐れて介護しているこ
とを隠す傾向に対して
「経営者や管理職が介
護しながら働くことは
当たり前だと明言し
て」と呼び掛けた。
和氣氏は母親の介護
を13年続け介護離職も
した自身の経験から、
介護者に向け「介護者
にセーフティネット
はない。自分の人生を
優先的に考えてほし
い。介護はプロに任
せて、自分は責任だけ
を負うという選択もあ
る」とした。
企業に対しては「介
護に専念できるように支
援するのではなく、働
き続けられる方法を一
緒に模索してほしい」
と助言。介護離職防止
はリスクマネジメント
だとし「介護のことが
分からないのが不安の
原因。情報を提供し、
介護環境の整備や精神
的負担の軽減に向けて
支援して」と語った。
続いて介護離職ゼロ
を目指す社が事例を
発表。アスクル株は、
会社が把握していた社
員の介護者は3人だっ
たが、アンケートで介
護に携わる社員が53人
いたという。必要な支
援を聞き取り、フレッ
クスタイム制や1時間
単位の有給の導入、在
宅勤務の見直しなどを
行った。
大成建設株は、社内
の女性活躍推進の一環
で女性社員から介護不
安の声が多かったこと
から対策に着手。現在
は介護セミナーによる
情報提供、外部と連携
した相談窓口の整備、
介護休業日数が最大1
80日などの対策を行
っている。
同機構は今年1月、
介護をしながら働ける
社会をつくらうと発
足。介護離職防止対策
の評価基準の策定や企
業向け介護知識講座な
どに取り組んでいる。

シンポジウムの様子



またNCCUが毎年
行っている就業意識実
態調査（4000人対
象、回収率74%）の速
報では、新設の質問の
回答をみると、直前の
仕事は約7割が介護業
界以外だった。介護の
仕事をする前後のイメ
ージの違いは「一時金
や昇級額が低い」「精
神的疲労がある」など
が多かった。介護の仕
事を続けたいかでは、
5割以上が「現在の職
場で同じ職種で続けた
い」と答えた。
NCCUは介護従事
者が会社や職種に関係
なく集まる職業別労働
組合。全国に9支部あ
り組合員6万5307
人（8月3日現在）。

平成28
五、申込
平成28
六、入札
競争
級の
直近
70
その他
問い合
問い合
成金の
致しま
すこと
賜りま
意を表
一、事
一、整
一、事
一、助
一、事
一、施
一、施
一、完